

読賣新聞

2007年(平成19年)3月29日 木曜日



地震でゆがんだ線路の復旧工事を行う作業員(28日午前9時半、石川県穴水町ののと鉄道)＝鈴木毅彦撮影

能登半島地震のため全線不通となっている第3セクターののと鉄道は、30日の始発から運転が再開される見通しとなった。また、半島中央部を南北に貫く能登有料道路は29日、通行止め区間のうち南側半分と、分岐している能越自動車道の一部の計26キロが開通する。残る北側区間27キロも大型連休前の4月27日までの開通を目指し、復旧工事が急ピッチで進められている。

のと鉄道は、JR七尾線の和倉温泉駅と穴水駅を結ぶ。地震後、敷石の陥没や隆起が25か所で見つかり、乗

能登 交通網復旧急ピッチ

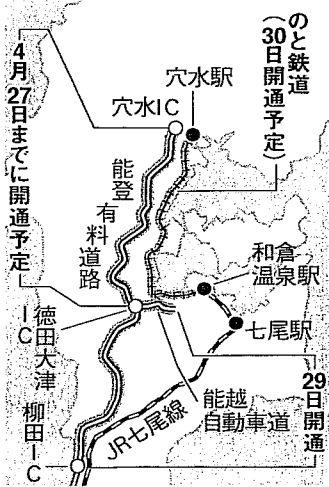
のと鉄道あす再開

り入れているJR七尾駅と穴水駅の間約33キロが全線不通(七尾―和倉温泉駅間のJR特急は運行)となったが、復旧を急いだ結果、乗り入れ部分も含め、予定より2日早い30日に全線で運行できる見通しとなった。

能登有料道路は15か所で道路が崩れ、半島入り口の柳田インター以北が通行止めとなった。復旧のめどは立っていないが、徳田大津インター以北を除き開通できることになった。

△関連記事37面▽

は不通区間 ○輪島市



鉄道と幹線道路の復旧予定

地震登能

救援物資 必要分だけ

リストアップ方式で効率化

能登半島地震で、石川県は、救援物資のリストアップ方式を取り入れ、不要な物資の山積みを防いでいる。また、被災者の要望などを見極めるため、輪島市が、ボランティアの受け付け登録を発生から3日目に遅らせ、本格的な活動は4日目の28日から開始。過去の震災を教訓とした支援の受け入れ方法が広がっている。

新潟県中越地震では、同県長岡市に水、食料などのほか、不足解消後も、毛布や紙おむつなどが殺到。山積みになされ、物資をさばくのに時間と人手が取られた。

これを教訓に、長岡市は今年1月、地域防災計画を改定し、一般からの物資を受け付けないことにした。

石川県は、長岡市の例を参考に被災自治体と検討。その結果、支援物資について、県に申し込みがあった場合、県厚生政策課が一覧化。それを、輪島市など被災3市4町に示し、必要と申告されたものだけを送り主に依頼する方法にした。

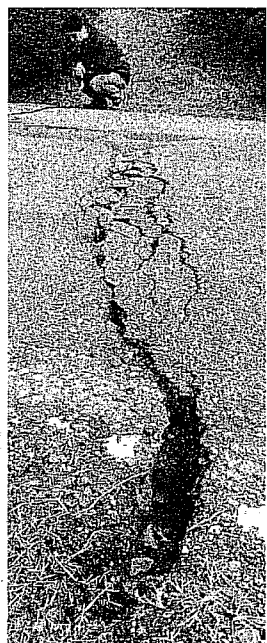
これにより、実際に送られてくる物資は限られ、27日夜までに、県に申し出があった108件のうち、自治体に届いたのは16件だ

能登半島地震の断層を調査していた金沢大の石渡明教授(地質学)らのグループは28日、最も被害の大きかった石川県輪島市門前町で、地震を引き起こしたとみられる断層の一部を写真と2か所で確認したと、発表

した。今回の地震で地表に現れた断層が発見されたのは初めて。グループは、余震の震源分布をもとに調査。門前町中野屋地

断層2か所で確認

金沢大調査グループ



区で道路が長さ約8㍍横にずれているのを発見した。そこから南西約1㍍の安代原地区の道路でもずれの横ずれを確認した。石渡教授は「今回の地震を起す」とみられ、断層と見て間違いない」としている。

け。輪島市は、2か所のボランティア受け付けは、「態勢をきちんと整えたうえ、ニーズもつかむため」(輪島市災害対策ボランティア現

同課の森新一郎課長は、「要望が変化しても対応できる。頂いたものを有効利用できる」としている。また、地震発生から3日

目には始めた輪島市のボランティア受け付けは、1態勢は、県内外から訪れた約130人が壊れた家財道具などの片づけを手伝った。

手は28日、能登半島地震の被災者への義援金として、1000万円を石川県共同募金会に寄託した。松井選手の母、さえ子さんが同日、同県能美市にある同会の窓口を訪れ、松井選手の名前の書かれた1000万円の

小切手を手渡した。

松井選手が100万円
石川県出身の米大リーグ
ヤンキースの松井秀喜選